

多文化共生事業事例集

年度

R3

団体名

長岡市

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

ジャンル

D

事業費総額 2,692千円

労働

事業名

国籍を問わず誰もが活躍できる地域を目指して！
留学生就職促進プロジェクト

概要

市内の留学生を対象として企業見学会やワークショップを開催したほか、
外国人材向け市内就職 PR 動画の作成・配信を行った。

事業のポイント

◇留学生の市内企業への就職を促進するため、留学生が学生生活を長岡市で過ごす間に、市内企業との交流を深める事業や留学生向けの動画を制作する事業に参加してもらうことで、長岡市で暮らし、働く魅力を感じてもらえるよう、市内就職のPRを実施した。

◇理系学生・文系学生を対象とした各企業見学会の実施に際し、多数の市内企業から協力を得ることができた。また、多数の留学生にも参加してもらい、市内企業について学びきっかけを提供することができた。

事業の背景・目的

◇長岡市は4大学1高専、15専門学校、留学生約400人を含む約7,000人の学生が在籍する学園都市であるが、市内企業への就職率は日本人を含めても5%程度と低い状況にある。

一方で、長岡市は新潟県を代表するモノづくりのまちであり、企業もグローバル化に向けて、多様な感性や創造性を持つ外国人材の採用に取り組もうと意識が変わりつつある状況である。

事業の詳細

市内大学等に在籍する留学生を対象に、以下の事業を実施した。

(1) 留学生向け企業見学会&暮らし・仕事ワークショップの開催
文系・理系の学生を対象に、市内企業の見学会と市内企業で活躍する外国人社員の方と交流できるワークショップを開催した。

ワークショップでは、市内企業で実際に働いている外国人社員の方と参加留学生との意見交換や、JICA長岡デスクスタッフによるセミナー、多文化共生マネージャーによる長岡市の外国人市民支援策の紹介等を行った。

①理系留学生対象の企業見学会&暮らし・仕事ワークショップの開催
日時：令和3年8月6日（金）9:30～15:00

②文系留学生対象の企業見学会&ワークショップの開催
日時：令和3年10月22日（金）10:30～15:50

(2) 外国人材向け市内就職促進PR動画

留学生が市内企業での就職や長岡市での暮らしがイメージできるよう、市内で働く外国人社員が活躍している様子や長岡市の外国人市民に対する支援策等を紹介する動画を作成し、長岡市で暮らし、働くことの魅力を広くPRした。

撮影に協力いただける社員の方に事前ヒアリングをし、すり合わせをしながら動画のシナリオを作成した。

また、行政サービス紹介動画のシナリオを作成するために、多文化共生事業に取り組む国際交流課の職員や、多言語相談の相談員、多文化共生マネージャー等からヒアリングを行った。

制作した動画は長岡市の公式YouTubeチャンネル上に掲載し、長岡市で暮らし、働くことの魅力のPRを行った。



企業見学会の様子



外国人社員との交流会の様子

事業実施における工夫点・事業の成果等

●事業の工夫点

企業見学やワークショップの実施にあたり、以下の市内企業から協力を得ることができた。

①学生向け企業見学会・ワークショップ

【見学先企業】

オムニ技研(株)、テラノ精工(株)、アルプスアルパイン(株)、(株)阿部製作所、(株)イトラスト、ソリマチ(株)、グローバルマーケティング(株)、アクシアルリテイリング(株)

【ワークショップ参加企業】

(株)アサヒプレジジョン、(株)アドテックエンジニアリング、(株)NS・コンピュータサービス、アクシアルリテイリング(株)、(福)長岡三古老人福祉会、ヨネックス(株)

②市内就職 PR 動画の撮影協力

(株)アドテックエンジニアリング、ソリマチ(株)

また企業募集の際には、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、長岡大学などの市内大学等へ、留学生が関心の高い業種や職種についてヒアリングを行い、企業募集の際の参考とした。加えて、各大学等からは参加学生の募集にも協力いただいた。

●事業の成果

文系・理系の学生を対象に、市内企業の見学会と市内企業で活躍する外国人社員と交流できるワークショップを開催し、計 14 社の協力のもと 27 名が参加した。

また、動画作成は 2 社の協力のもと、外国人社員に出演してもらい市内就職 PR 動画を作成・配信した。

今回の事業に参加した学生と市内企業がマッチングした事例はまだないが、参加した学生が市内企業でのインターンシップ等に参加した事例はあり、学生の市内就職の意識醸成に繋げることができたと感じている。



動画出演の(株)アドテックエンジニアリング外国籍社員

今後の課題・(コロナ禍の状況を踏まえた) 将来に向けての展望等

本事業では、文系・理系の各学生を対象とした企業見学会・ワークショップを実施したが、長岡市が製造業を中心としていることもあり、理系の学生を対象とした回に比べ、文系の学生を対象とした回は参加企業数が少なかった。また、大学へのヒアリングをしている中でも、文系の留学生は市内企業に就職する学生は少なく、市外、県外の企業へ就職していることが分かった。

アンケート結果からも留学生は企業見学会やワークショップのような市内企業を知る機会を求めていることから、今後は企業訪問等を通じて、文系の留学生の採用を考えている企業の開拓と留学生との交流の場づくりを進めていきたい。

また、長岡市では多文化共生に向けた交流イベント等を実施しているが、留学生等の若い世代の参加に伸び悩んでいる。今回のイベント等を通じて、多文化共生のため

の交流イベントがあることや、外国人市民の方に対する支援策等を知らない留学生も多いことも分かったため、今回制作した動画を活用しながら、多文化共生事業の推進にも取り組んでいきたい。

近年、労働力人口の減少を背景とした外国人材への企業ニーズは増加している。しかし、市内企業においては言語対応、異文化理解等さまざまな面で課題も多い。市としても企業向けセミナーや外国人材活用推進アドバイザーの配置などを通じて市内企業の意識啓発にも努めていきたい。



事業担当者のふりかえり

本事業を通じて、企業も留学生も「普段なかなか接点がない」という課題が明確になり、その課題を解決するためのアプローチとして、留学生向け企業見学会& 暮らし・仕事ワークショップの開催は非常に有効であった。PR 動画については、留学生のみならず、外国人材受入を検討する企業からも「外国人材受入のイメージが湧いた」と好評いただいております、企業向けセミナー等でも今後活用していきたい。